



MACROMILL
CARENET
a Macromill Group company



PRO-DB
Person-Reported Outcomes Database

患者起点で描く医薬品の価値最大化

～PRO-DBで捉えるアンメットニーズと
Well-being向上を目指すエビデンスの創出～

開催日時

2026年11月17日(火)
17:30～19:00

会場受付 17:00～

当日はプログラム終了後に軽食とお飲み物をご用意しております

会場

現地開催のみ

参加無料(事前申し込み制)

東京都中央区日本橋本町2丁目3-11
日本橋ライフサイエンスビルディング
LSB-201大会議室

概要

メディカルおよびヘルスケア領域で利用可能なデータベースとして、従来の商用レセプトデータベースに加え、電子カルテデータベースにも活用の可能性が広がりとつあります。さらに、民間企業によるPersonal health record (PHR)も存在し、ベンダー間のデータ連携・統合の可能性が進んできています。

一方で、生活の質(QOL)や生産性損失などのPatient-Reported Outcomes (PRO)は、必要に応じて調査会社によるアンケート調査で収集しており、そのため情報として断片化され、統合されたデータベースはほとんど存在しません。

ヘルスケアコンサルティングおよびマクロミルケアネットでは、2024年に一般生活者を対象に、現在の健康状態、QOL、生産性損失、ヘルスリテラシー、SDoHを定期的に聴取するPerson-Reported Outcomes Database (PRO-DB)の構築を開始し、2026年7月には3回目のアンケート調査を実施いたしました。

2024年から3回目を迎える本セミナーでは、上記のPRO-DBを用いた日常負担の可視化と課題抽出への活用に加え、医薬品のマーケティング・価値最大化におけるPROの可能性についてご紹介いたします。

イベントプログラム

1. PROは医薬品マーケティングに何をもたらすか ― 戦略立案・価値訴求での活用可能性 ―

<演者> 大澤 一範 株式会社ヘルスケアコンサルティング エグゼクティブアドバイザー 兼 戦略顧問

2. BMI別に見た2型糖尿病患者のウェルビーイング実現状況

<演者> 大坂 耕一郎 株式会社マクロミルケアネット セールス&ビジネスディベロップメント部事業開発G

3. 精神・心療内科領域における回復要因の統計的解析報告

<演者> 宮下 ちひろ 株式会社マクロミルケアネット 臨床研究事業部 HEOR U

4. PRO-DBの2年分の連続回答データからみる疾患の新規発症とQOL・労働生産性の関連

<演者> 岩崎 勝彦 株式会社ヘルスケアコンサルティング 取締役 COO シニアデータサイエンティスト

5. エビデンスを届け、価値につなげる ― 医療従事者・生活者・政策関係者への情報発信の重要性 ―

<演者> 小久保 欣哉 二松学舎大学 国際政治経済学部 国際経営学科
二松学舎大学大学院 国際政治経済学研究科 国際政治経済学専攻 教授
株式会社ヘルスケアコンサルティング 代表取締役 CEO

6. 懇親会（軽食とお飲み物をご用意しております）

定員

会場 70名(現地開催のみ)

※ 上限を超えた場合は、抽選等になる可能性があります

対象業界

ヘルスケア業界(製薬、医療機器、ヘルステックなど)

※ 主催者と同業となる方にはお断りする場合もございます

参加登録/お問い合わせ

下記URLリンクからお申し込みください

<https://questant.jp/q/880207P4>